

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

28

1 施策の概要

1-1 施策の名称	交通対策			基本施策コード	3-1-2
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	都市計画課	都市計画課長 野村 芳明
1-3 総合計画における施策の体系	①節	都市基盤・産業振興「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			
	②項	道路・交通			
1-4 施策の目的	鉄道駅や駅周辺をユニバーサルデザインを推進し、全ての市民が移動しやすくする				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

● 施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する
- B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期（平成18年度～平成22年度）			全期間（平成23年度～平成27年度）			指標の定義
		目標値 (%)	実績値 (%)	達成率 (%)	目標値 (%)	実績値 (%)	達成率 (%)	
①	鉄道の利便性	70.0	74.4	106.3	75.0			鉄道を利用する市民の利便性を高めるため、交通結節点として充実を図る指標
②	路線バスの利便性に対する満足度	50.0	57.9	115.8	50.0			路線バスを利用する市民の利便性を高める指標
③	ひまわりバスの利便性に対する満足度	60.0	48.2	80.3	75.0			利用者から見た運行状況の充実状況を表す指標

2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	駐車場経営等、公共と民間の共存の推進	全ての市民が、安心して利用できる交通結節点の整備を進める	駅前広場における環境対策・交通渋滞緩和対策のための市営駐車場の検討をした
平成19年度	〃	〃	駅前広場における障害者用駐車場の利用状況を把握に努めた。
平成20年度	公共と民間の共存の推進	市民の皆さん利用できる駅周辺での駐車場などの整備を進める。	愛知県が中心となり年4回の駐車場に関する勉強会等を実施し、駅前広場における駐車場の利用状況を適格に把握できた。
平成21年度	公共と民間の共存の推進	市民の皆さん利用できる駅周辺での駐車場などの整備を進める。	豊明駅南に月ぎめ駐車場の設置を研究検討し、H22年度事業として着手する予定である。
平成22年度	平成22年8月に豊明駅南月ぎめ駐車場を供用開始したことにより、パークアンドライドの充実を図ることができた。今後は、更に利用者の増加を図る必要がある。		
平成23年度	パークアンドライドとして豊明駅南月ぎめ駐車場を整備し、広報・新聞広告の掲載により利用者が増大した。		
平成24年度	パークアンドライドとして豊明駅南月ぎめ駐車場を整備し、広報・新聞広告の掲載により利用者が前年度に比べて若干減少しているため、利用者の増加を図る必要がある。		
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

